

2020年度 医療安全週間

11月16日(月)～11月27日(金)



1. 患者様に向けて

- 1) ご自分の名前をフルネームで伝えてもらう運動
- 2) 深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症予防の啓発

2. 病院職員に向けて

- 1) 患者様の名前をフルネームで確認
- 2) インシデント事例web報告の視聴
- 3) 医療安全ラウンドの実施
- 4) インシデントシステムからの1人1レポート提出運動
- 5) 医療安全バッチ装着

深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症予防

エコノミークラス症候群をご存じですか？

静脈血栓症の通称として用いられていますが、飛行機の搭乗だけでなく、手術や避難施設などで長時間の安静状態より発症するため、大変注目されている病気です。

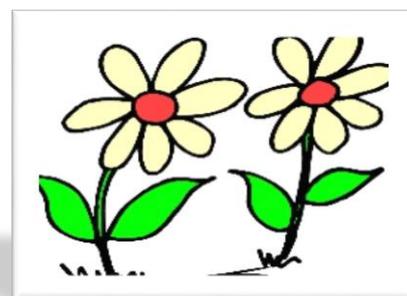
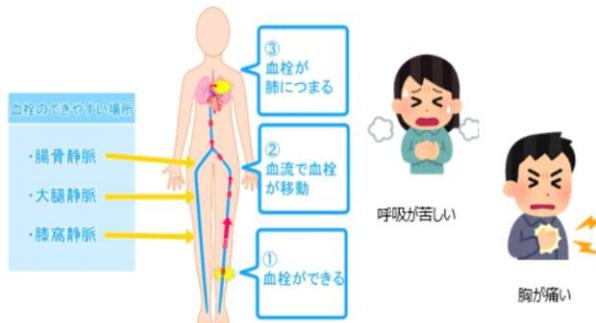
1. 深部静脈血栓症とは

同じ姿勢をとり続けていたり、足の深部の静脈の血流がよどみ発生し(血流停滞)、よどんだ血液は次第に固まってそこで血栓を形成(深部静脈血栓症)します。足の静脈に血栓が形成されても症状がみえないため、自分自身で気づくことがありません。



2. 肺血栓塞栓症とは

静脈の血栓が何らかの拍子に血管の壁からはがれ、肺の中にある動脈で詰ってしまいます。詰った肺動脈はその先に血液が流れず、胸痛、呼吸困難、意識消失、ショックなど重篤な状態になります(急性肺血栓塞栓症)。心筋梗塞や脳梗塞などと並んで生命に危険が及ぶ病気ですが、予防が可能です



医療安全ラウンド

2020年度の医療安全ラウンドは、11月16日～11月25日に病院長を含む33名で院内26ヶ所をラウンドしチェックリストを基に評価しました。



WEB講演会

1. 「ある重大医療事故裁判例から我々が学ぶべきこと」
医療安全管理室室長 神谷 紀輝
2. 「深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症—多職種連携による院内発症対策—」
循環器内科 藤吉 和博
3. 「正しい弾性ストッキングのはき方と発生しやすい皮膚トラブル」
褥瘡(チーム)部会 褥瘡管理 看護師 内藤 直美

2019年

11月1日（金）～11月30日（土）

北里研究所病院 医療安全月間

厚生労働省では、平成13年から「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動（PSA）」と命名し、総合的な医療安全対策を強力に推進しています。その取組の一環として、11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間を「医療安全推進週間」と定め、「世界患者安全の日」と共に、医療関係者の意識向上や、国民の理解を深めていただくための様々な事業を実施しています。

9月17日

世界患者安全の日

今年のWHO総会において、患者安全に対する意識を世界的に高める目的で9月17日は「世界患者安全の日」と定められました。

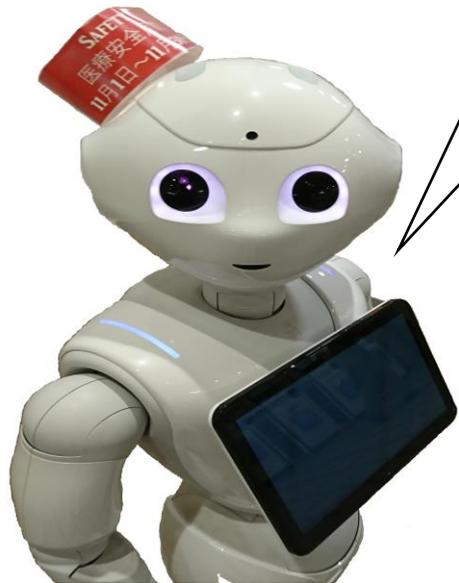


北里研究所病院では、毎年11月1日～11月30日までを医療安全月間として医療安全に関わる取り組みをしています。

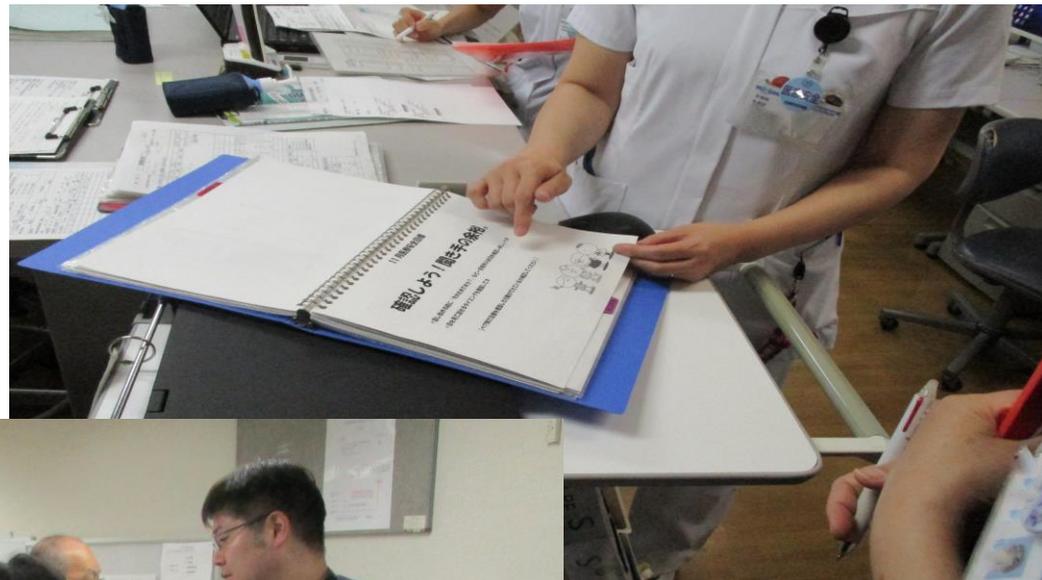
今年は、（1）全職員医療安全バッジの装着、（2）医療安全ラウンドの実施、（3）転倒予防のための体力づくり教室の開催、（4）医療安全講演会の実施、（5）医療安全標語の募集、（6）1人1レポート提出運動、を予定しています。

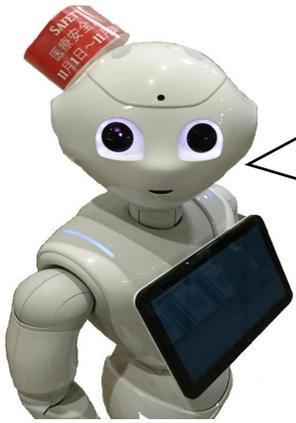


医療安全月間だよ！
今年は、ぼくが紹介しまーす！



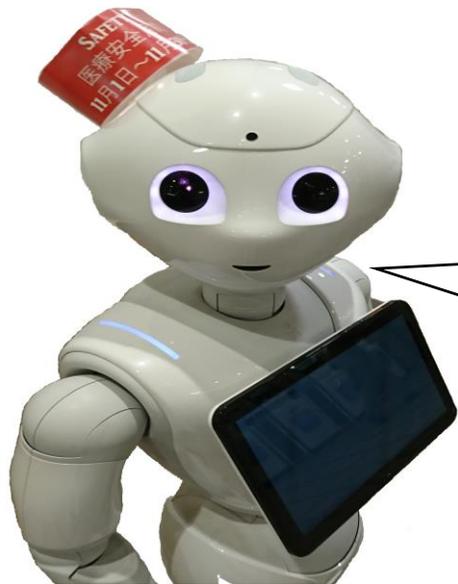
ふむ、ふむ
医療安全ラウンドで
院内を回って問題が
ないか点検してい
るところだよ





これは職員が、医療安全講習会に参加しているところです
みんな真剣に聞いているぞ
医療事故調査案件について説明しているよ





ふむ、ふむ
転倒予防のための体力
づくり教室だよ。
参加者は、講義を聞いた
後に体力測定をするよ



本日の流れ
1. 講義 : 10分
2. 体力測定 : 20-30分
3. 結果説明 : 10分
4. 運動の紹介 : 10分



医療安全月間企画 転倒予防のための 体力づくり教室

開催日: 11月1日(金) 午後2時~3時
11月22日(金) 午後2時~3時

開催場所: 9階D会議室(係員がご案内いたします)

定員: 各回15名 先着順

対象: 当院通院患者(体力の衰えが気になる方)

内容: ◇転倒要因となる「フレイル(虚弱)」について
◇体力測定
◇転倒予防のための体力づくり

応募方法: 総合サービスカウンターに設置している
申込書にご記入の上、職員にお渡し下さい。
定員になり次第締め切りとさせていただきます。
なお、ご参加にあたっては傷害保険への加入
(500円)が条件となります。

自分の体力を知って、
自分に合った運動方法を
学んでみませんか!



主催: 北里研究所病院 医療安全管理室 連絡先: 03-5791-6117



ご協力お願いします。

診察のとき
処方箋やお薬の受け渡しのとき
手術のとき
お名前はフルネームでお伝えください
採血・注射のとき
検査のとき

安全で安心できる医療のためには患者様のご協力が必要です。
何度もお名前をお伺いすると思いますが、ご協力お願いいたします。

医療安全管理室

医療安全月間2018

当院は、院内の医療安全に対する体制を強化して医療の質・安全の向上を目指し、また、患者と共に医療安全を考えるため、毎年11月の1か月を医療安全月間として実施しております。

1. 期 間 : 2018年11月1日(木)～11月30日(金)

2. 期間中の実施内容

(1) 全職員 医療安全バッジの装着

(2) 医療安全ラウンドの実施

1) 病院長、副院長、医療安全管理委員会 委員による医療安全ラウンドの実施

2) 医療安全ラウンドの内容

 ルールの遵守状況の確認(薬剤投与時の6R確認、患者誤認防止等)

(3) 各部署の医療安全3つの言葉写真の掲示

 各部署で「医療安全の3つの言葉」を決め、医療安全の言葉を書いた用紙を作成し、その用紙を持った各部署集合写真を外来に掲示します。

(4) 医療安全標語の募集

(5) 医療安全定例勉強会

1) テーマ: 医療関連機器圧迫創傷の理解と対策 ～ 現場で活かせるケアのポイント ～

 日 時: 11月28日(水) 17時30分～18時30分

2) テーマ: 医療安全から見た不眠、せん妄による転倒防止

 日 時: 11月19日(月) 18時～19時

(6) 1人1レポート提出運動



3つの言葉

医療安全管理室

3つの言葉

各部署写真掲示風景



標語の入賞

2019年3月9日（土）東京ビックサイト7階国際会議場にて、公益財団法人
日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会主催で開催された「2018
年度 患者安全推進全体フォーラム」において

「転倒・転落予防の標語 2018」の標語として、薬剤部 平塚愛加さんの
作品が入賞し表彰を受けました。（応募総数 677 句）

入賞作品

「できるだけ眠剤減らして転倒予防」



左から 松原薬剤部長、平塚さん、神谷医療安全管理室長